

大宮小学校

読書の楽しさを味わい、豊かな心情と幅広い知識が育つ学校図書館

今の学校図書館

・メインルームである 0～9 類の部屋と、E、昔話、詩などの「えほんのへや」の二間で構成されている。児童が自らの力で目的の資料に到達できるように、分類やラベル、装備の仕様、データの見直しを行い、図書館を使った授業では図書館利用指導を行い、探究的な学習に対応できる蔵書と機能の充実を図っている。

・PTA や支援本部によるボランティア組織である図書サポート班が、季節ごとに館内の装飾を変更している。また、各学年学期 1 回の朝の読み聞かせをしている。

学校図書館の運営

- ・学校図書館運営計画に沿って、日々の業務の他に、学校行事に関連した図書委員会の活動をサポートし、図書サポート班による朝読書の時間に行われる読み聞かせに対して、選書の相談や本の貸し出しなどの支援を行っている。
- ・授業支援に関しては事前に各担任と打ち合わせを行い、事前の準備や利用指導の説明を行っている。

1 年間の主な活動

- ・春と冬の年 2 回の読書週間の実施
- ・大宮小おすすめ本のリスト及び読書の記録の配布
- ・全学年対象の読み聞かせ
- ・ストーリーテリングの実施
- ・児童書の購入
- ・永福図書館の団体貸出窓口業務及び 1 学期の 3～6 年各クラスの団体貸し出し選書
- ・蔵書点検等

特色ある取組

〈春・冬の読書週間〉

- ・ストーリーテリング
地域のストーリー

テラーに来ていただき、素話を聞く機会をもつ。

- ・読書活動

ビブリオバトルや教科書の読書の単元を読書週間の期間に実施し、本を紹介し合えるような読書活動を各学年と相談して設定している。

- ・全教職員によるおすすめの本の紹介

紹介したい本を持ち、全教職員が一人ずつ写真を撮り、図書館内に掲示する。

- ・給食コラボレーション

栄養士と学校司書が連携し、物語に出てくる料理を給食に登場させる。

- ・図書委員による読書郵便や読み聞かせ

図書委員が主体的に読書活動の推進のために考えた取り組みを尊重し、実施に向けて助言等の指導を行う。

これからの学校図書館

「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を充実させ、学校図書館を利用した授業で読書指導や情報資源を活用する学びの指導を体系的に計画的に行うことができるよう、各学年における指導計画を作成し、実践していく必要がある。